



外国出張報告書

平成 26 年 11 月 5 日

1. 出張国名 フランス
2. 出張月 平成 26 年 9 月～10 月
3. 出張目的 小麦イニシアティブ第 4 回研究委員会等への参加のため：D

4. 成果の概要

10 月 1 日に開催された小麦イニシアティブ (International Research Initiative for Wheat Improvement、略称 WI) 第 4 回研究委員会に加え、その前、9 月 29, 30 日に開催された小麦イニシアティブ第 1 回作業部会総会 (1st EWG Jamboree) に参加した。

WI 研究委員会では、第 3 回以降のフォローアップ報告 (事務局メンバーの交代、新加盟メンバー：ハンガリー及び Arvalis Insitut du Vegeta の紹介、第 4 回機関調整委員会の報告等) のあと、新規作業部会 (EWG) の提案・プレゼンテーション (Global wheat Germplasm conservation and use community 及び Nitrogen/nutrient use efficiency in wheat) が行われた。この二つの新規 EWG は、その後の研究委員会の審議で、いずれも設置が認められた。また、既設 EWG についての現状報告がなされた。

中期的な WI の活動の指針となる Strategic research Agenda (SRA)については、2015 年 6 月にイタリアにて、「地球に食料を、生命にエネルギー」をテーマにして開催予定のミラノ万博において正式リリースすることとし、それに向けて策定作業を加速化することで一致した。また、Scientific Board (定員 8 名) メンバー 3 名の改選が行われた。任期は、2015 年～2017 年の 3 年間。

WI 研究委員会に先立ち 9 月 29, 30 日に開催された小麦イニシアティブ第 1 回作業部会総会 (1st EWG Janboree) においては、小麦の品種改良において game-changer となる事項についてグループディスカッション形式で討議を行ったほか、12 の Expert Working Group (EWG) の現在までの活動内容の報告と各 EWG 間の連携・協力について討議を行った。また、研究委員会において策定中の SRA について短期、中期、長期的に優先すべき研究課題をグループディスカッション形式で討議を行うと同時に、各 EWG からの意見を提出してほしいとの要請があった。